

# た か だ こ ら む

## 2022年度 溶接学会九州支部 研究発表会 — 2022 Annual Research Meeting of Japan Welding Society Kyushu-Chapter —

当社は一般社団法人溶接学会の会員であり、本部の教育委員会委員や九州支部の代議員等も拝命している。溶接学会九州支部の研究発表会は毎年一回開催されており、当社は、1984年以降比較的継続的に研究発表を実施し、延べ約30件程度の研究発表を実施してきている。今年度は2件の研究発表を実施したので、以下にその概要を紹介する。

### 1. 2022年度 溶接学会九州支部 研究発表会開催概要

2022年度の研究発表会は、新型コロナウイルス感染症防止対策も考慮して、Web方式+対面方式のハイブリッド形式を採用し、以下の要領で開催された。また、1件の発表時間は、20分（発表15分、質疑応答5分）が割り当てられた。

- (1) 日時：2022年9月1日（木）
- (2) 会場：九州大学伊都キャンパス(対面方式)、Microsoft Teams (Web方式：リアルタイム配信)
- (3) 主催：一般社団法人溶接学会 九州支部
- (4) 発表件数：Web発表4件、対面発表10件、合計14件
- (5) 参加者数：約50名

### 2. 研究発表の概要

研究発表会の講演内容としては、学術的な研究のみならず、製造技術への適用事例・新規製品(技術)開発等の投稿も期待され、特に企業や公設試所属の若手技術者による発表が歓迎された。

当社からは、以下2件の研究テーマに関して、岩崎良二氏がWeb方式(Program No.7)で、山口ちひろ氏が対面方式(Program No.9)で、それぞれ発表を行い、活発な質疑・応答が行われた。

また、溶接学会九州支部長からは、「今後も積極的にご参加いただくとともに、研究開発の状況をご発表いただきたい」というご要望をいただいた。

- (1) エンクローズアーク溶接施工法を適用したレールの溶接  
○岩崎 良二・浜水 聖・篠原 誠・浜田 宏昭・小出 鷹史・中野 光一
- (2) 省合金二相ステンレス鋼の溶接部におよぼすティグ溶接の窒素入りシールドガスの影響  
中野 正大・○山口 ちひろ

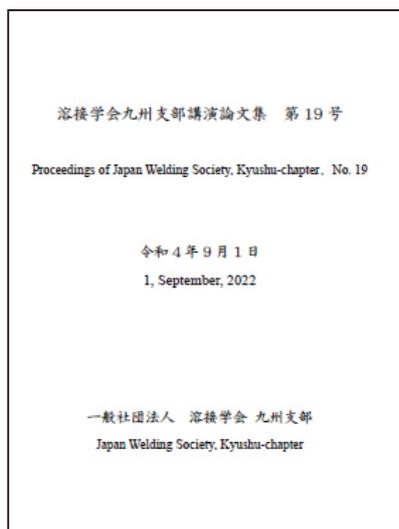


図1 溶接学会九州支部講演論文集の表紙

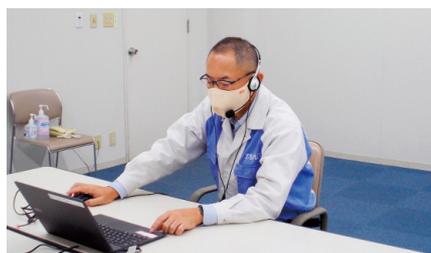


図2 Web方式の発表の様子(岩崎氏)



図3 対面方式の発表の様子(山口氏)

中野 光一 (技術本部 企画開発部)